

【分野名：社会科学】

大 学 名	慶應義塾大学
拠点のプログラム名称	日本・アジアにおける総合政策学先導拠点
中核となる専攻等名	政策・メディア研究科 政策・メディア専攻
拠点リーダー氏名	大江 守之
<p>《拠点形成の概要》</p> <p>本拠点の目的は、問題発見・政策提案・実験・検証という総合政策学アプローチによる解決が最も必要とされているヒューマンセキュリティの基盤研究を通して、日本・アジアにおける総合政策学の確立を先導することである。国境を越えて人間の生活基盤を左右する「地域安全環境」、旧来の共同体の枠組みを揺らしながら進展する「グローバル市場環境」、それらを新しい次元で安定的に受け止めるための「持続型生活環境」という3つの領域を設定し、徹底したフィールドワーク、海外・国内の研究者、実務家（政府、企業、NPO等）のヒューマン・ネットワーク、最新のIT技術を駆使した情報の集積と共有を通して、各領域の成果の統合を図りながら、比類なき研究教育拠点の創成を目指す。本プログラムは、5年間にわたるこのような活動を通して、次代を担う内外の研究者を育成するとともに、総合政策学の体系構築とその持続的発展を担うアカデミック・コミュニティの形成を実現しようとするものである。</p> <p>「ヒューマンセキュリティ」は、1994年に国連開発プログラムで提起された「脅威と欠乏からの自由であり、日常生活をめぐる人間中心の包括的な安全保障である」という概念から出発しているが、徐々に広がりを見せ、今日では個人やコミュニティを基礎としつつ、安全、安心、信頼によって結ばれた社会形成をめざす目標概念へと発展している。「ヒューマンセキュリティ」を実現するための総合政策学アプローチは、社会が経済発展段階において大きく異なろうとも、また問題解決に必要な資源の質に違いがあろうとも、それを阻害する要素を冷静に見極め、その解決を経済発展や国家政策にのみ依拠することなく、多様なアクターの参加と自由な発想による手段の組み合わせを通して実現していこうという姿勢を有している点に特徴がある。</p>	